

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2005年6月28日

57号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991



障害者も地域で安心して暮らせるように

とどけ私たちの願い！

アジサイの美しい姿が見られるからか、梅雨とはこうしたものだという“納得”があるからでしょうか、この季節の雨には私たちも寛大な気持ちももてるのですが、こう暑い日が続くと心配にもなってきます。さらに暑くなる夏、水は大丈夫でしょうか...

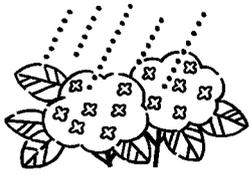
先日、横浜球場に隣接する横浜公園で、「障害者自立支援法に異議をとなえる緊急集会」がありました。この法案については、何度か触れましたが、いま国会が郵政民営化問題でわきたっている陰で、着々と準備が進められています。この法案について障害当事者や関係者たちが集って意思表示をおこなったものです。主催者側では2500人の参加と発表しましたが、支える会からも当事者家族会員を中心に参加しました。

いつもの集会と違ったのは、今回、精神障害者のグループや、法人施設の方々も一緒に集り、いろいろな立場から、たくさんの当事者の声が聞こえたことです。素朴な中にもせっぱつまった訴えに、国会議員の方も一生懸命耳をかたむけていました。

後日、地域ごとにもたれたブロック会議でも、現場からの不安な声がいろいろだされています。自己負担金が定率で課せられること、ヘルパー制度の行方、これまでのサービスがどう存続していけるのか...

しかも、もしこのまま国会を通過してしまえば、もうこの秋からすぐにいろいろな取り組みが始まり、来年の1月からは、自己負担金がとられると言うぐあいに急ピッチですすめられようとしています。

さて6月18日に横浜のグループホーム連絡会の総会がありました。運営委員会型(A型)のグループホームは、97箇所になりもうすぐ100箇所に手が届こうとしています。地域の中で生活していこうという障害者はどんどん増えています。一人ひとりに合った安全な生活が出来るよう手厚い補助を望みたいものです。



自発的な参加と行動を

サンヴァリエ日吉ボランティア会 会長 若木 信子

サンヴァリエ日吉ボランティア会は平成元年12月に発足し、16年経過しました。その1年前「活動ホームしもだ」の開所にともない、地域のボランティアを募集しておられたので、当時の名称「日吉団地ボランティア会」として登録し、手伝いをさせて頂いています。

サンヴァリエ日吉ボランティア会も、ボランティアの高齢化がすすんでいます。発足当時から「居住者のたすけ合い運動として位置づけ、「いずれわが身」、自分ができるときにできることをする」無理をせず、地道に活動をつづけてきました。

先月77歳になる団地のひとりぐらしの女性から日ごろお世話にばかりなっているので、元気で動けるうちにボランティアとしてお手伝いさせてほしい、との申し出がありました。食事会、お茶のみ会に欠かさず参加されている方なので、今後はご自身がお世話する立場になりたいと思われたのでしょうか。大歓迎、ボランティアに登録して頂きました。

つづいてもう一人、年配の男性の方が事務所にいらして、「ゴミ出し」等のボランティアをさせて頂きたいとの申出を受け、お話し合いのうえ車の移送もして頂けそうなので、即運営委員に登録して頂きました。

いまサンヴァリエ日吉の各棟のエントランスホールには、アルミ缶入れの箱が今日もあふれています。「しもだ」から回収に来られ、つぶす作業が行われています。定着するまでに盗まれたり若干の問題はありましたが、この地味な支えあいが素晴らしい成果をあげている報告を頂きうれしい限りです。

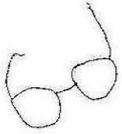
「地域での支えあい」は理屈ではないのです。「自発的な参加と行動」ではないでしょうか。

ご入会,ご継続 ありがとうございます

《会 員》 大谷 友子 小栗由美子 金沢 雄希 宮田 忠夫 高島勢津子
竹生真喜子 黒沢 千草

《賛助会員》 小栗 芳久 小栗 雄介 小栗 洋平 小栗久美子 明田川節子
笠井満喜子 白川 淳子 鈴木 恒夫 秋田 裕 荒井 洋一
荒井奈津美 小泉 寿子 福島 綱子 松本 直子 桜井 徹 木下 芳朗
大澤富美子 寺島 利夫 秋田 イト 渡辺 正恵 花岡 元 下野 正夫
下野 芳子 下野 一夫 下野 節子 萬治 進 萬治 敏子 岩崎 信行
岩崎ふさ子 楠戸 滋夫 福田 政江 福島喜美代 西脇 久夫 西脇 五月
西脇美登里 宮田トミ子 山本 邦子 荒木 明美 高橋フジ子 北村 清子
竹生 義行 金子瑠美子 神代 孝子 渡辺 隆利 渡辺アツ子 渡辺 洋一
渡辺 英一 渡辺 未帆

〔敬称略〕 (17年6月27日現在)



めがねのこえ

久しぶりに 電車で自由が丘へいきました。私は ちょっと親しくしている編み物の作家の横田さんのお店へあそびにいきました。私が織物に使うので 横田さんの作っている糸を見に行こうとおもったからです。

自由が丘の駅には エレベーターがありませんでした。このごろは どの駅でもバリアフリーでエレベーターがあるのに めずらしいなと思いました。

私たちが車イスで 電車に乗るときは 乗った駅から降りる駅に連絡をします。降りる駅ではホームで 駅員の人がまっています。自由が丘でも 4人の人が待っていて 車イスを持って階段をおろしてくださいました。

自由が丘の街を歩いて行くのは はじめてでした。少し前までは 若いひとたちに人気があったと言いますが 車イスの人には道が狭くてちょっと通りにくいし お店もたくさんあるけれど ちょっと入りにくかったです。

駅の事では 横田さんも少し怒っていて「私もいつも大きな荷物を持って階段を昇り降りするので 手や首や肩が痛くなってしまうのよ 困るわ」といっていました。

帰りも 駅員さんはとても親切に「お待ち下さい いま人を呼びましたから...」と言って まもなく3人の 駅員がきました。「ありがとう お願いします」とお礼を言って上のホームまであげてもらいました。

降りる日吉駅に着くと なんだかホッとしました。電車が止まると 女性の駅員が一人で待っていて すぐにとめてあったエレベーターに乗せて 直接改札口のそとへでました。

「ありがとう」「いいえ。ありがとうございます。お気をつけて...」と ほんとに スムーズに帰れました。

あれからもうすぐ一ヶ月ほどたちます。工事していると言っていた自由が丘の駅には もうエレベーターは できたのかな...。

大原友子

支える会 17年度総会のお知らせ

下記により今年度第1回総会を行います。

今後の活動計画を決める大切な集いです。会員賛助会員を問わずお気軽にご参加下さい。

日時：7月11日（月）10時30分～

会場：活動ホーム「しもだ」

議題：◇16年度 活動報告・会計決算報告 ◇17年度 活動計画案・予算案

◇規約の改正 ◇今後の会のあり方についてなど

よつばホーム

四月より非常勤職員として入りました、芝本 崇（しばもと たかし）と申します。大阪出身の28歳です。大学で上京して以来、会計士を目指したり、ケーキ職人を目指したり色々やっておりました。

この業界は、実家で母が訪問介護の事業所をやっているくらいで全く初めての若葉マークからの出発です。

時が経つのは早いもので、「よつば」さんにお世話になってもう三ヶ月になりました。

これからも頑張っていこうと思います。皆さん、よろしくお願い致します。

余談ですが、綱島に新規で出来たスポーツクラブに行くことにしました。友人やよつばのバイトさんなんかも行くみたいで。こちらも三日坊主にならないように頑張りたいと思います。

6月のイベントを簡単に。最初の土曜日に高島さんは第2の大原さんと横浜美術館へ、同じ日に藤田さん、福田さん、花岡さんとスタッフ・ヘルパーさんでカラオケに行って来ました。カラオケは大興奮で盛り上がりました。アニメソングから演歌まで...

第2よつばホーム

今月は、「第2よつば」に入っている男性ヘルパーを紹介いたします。

小泉さん—主に月曜日 18:00~21:00

昼間は羽田で漁をしたり、印刷の仕事をしているそうです。

ちょっとヤンチャなお父さん。

ちゅうばち仲鉢さん—主に月・水・金 16:00~翌9:30

バイト兼ヘルパーの形でヘルパーの派遣時間が終わった夜間も（泊まり）

バイトとして入ってもらっています。時間があると釣堀へ（太公望）

富岡さん—曜日に問わず 7:30~9:30 や 16:00~18:00 等

昔、作業所のよつばホームにボランティアで来て頂いていた、富岡レイ子さんの旦那様です。開所当時から入って頂いています。

寺島さん—主に火曜・金曜 18:00~21:30

初めてヘルパーとして入った仕事が「第2よつば」だったそうですが、気に入ってくれたみたいで… 開所当時から入って頂いています。

服部さん—主に木曜 16:00~21:00

昼間は老人ホームで働く、介護の専門家です。

クイズが大得意（アタック25出場、クイズミナ初めの最終面接まで残った実績あり）

◆次号では女性ヘルパーを紹介したいと思います。

